

(5) 緊急プラン(素案)に対する市民意見(その他)

No.	種別	意見	市の考え方
005	健康	<p>保健事業の見直し(案)への提言 歯科検診対象者の見直し 在宅寝たきり高齢者歯科健診廃止(民間への事業移行) 上記の二件に対して提言いたします。 倉田市長が公約されたとおり、子育てしやすい日本一をめざして子どもの健康を守るべくご尽力され、2009年4月から乳幼児の医療費助成が小学校入学まで拡大されることは評価されることです。一方、厚労省と日本歯科医師会が提唱した8020運動は20年目を迎えました。この運動を展開することにより、歯・口の健康が全身と深くかかわっていることが明らかになりました。80才で20歯以上有している割合が、平成12年度には十人にひとりであったものが平成19年度には四人にひとり増加しました。これはこの運動が継続して広く国民に浸透してきた表れだと思われまます。したがって、箕面市の歯科健診対象者の見直しの件も8020運動と同じように、市民に対して継続的に歯科検診を実施することにより歯・口の健康づくりに役立つものと思います。市民のニーズがある以上、発展的にご検討していただきたい。 また、高齢者社会を迎えて2020年には高齢者がピークに達するといわれています。そういった状況の中で、これらもって在宅寝たきり高齢者が増加し、市民からの在宅寝たきり高齢者歯科健診のニーズが増える事が予想されます。時代に逆行するような保健事業を見直すのは時期尚早と考えます。一市民の立場から申しますと民間への事業移行する案にせよ、箕面市行政にとってもマイナスになると考えられます。高齢者になっても未来に希望をもち、生きがいもてるようこの事業を継続する必要があると考えます。 よろしく、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>(歯科健診) (13)本市では、80歳で20本以上の歯を残す「8020運動」の重要性を認識し、歯科検診を実施しています。歯科検診の対象者は現在、国基準(対象者は40歳・50歳・60歳・70歳に限定)よりも拡大(30歳～74歳までの全偶数年齢の市民が対象)し、拡大分は市の単独経費で実施しています。今後、平成22年度に向けて、対象者の見直しについて検討していきます。</p> <p>(在宅寝たきり高齢者歯科保健推進事業) (15)在宅寝たきり高齢者に対する訪問による歯科保健指導及び歯科診療については、平成12年に介護保険制度が始まったことや在宅医療が医療保険(診療報酬)で評価されるようになったことにより、一定制度上は整備されましたが、市内で在宅寝たきり高齢者への歯科保険診療は全ての歯科医療機関が対応できているものではありません。平成22年度に向けて、民間の診療体制等を踏まえ、事業のあり方や市の役割について検討していきます。</p>
065	健康	<p>全体を通して市民の福祉医療に関する予算を減らしていることに怒りをおぼえます。特にきびしい経済状況にある中で許せません。 ガン検診は無料に 箕面の誇りにしてほしい、生活に困っている人が受けなくなります。市立HPは大切な市民の財産です。守ってほしい。 大型開発をやめてほしい。こんな試算は必要ありません。</p>	<p>箕面市財政の大きな問題は、「経常収支比率」の高さです。毎年度の市民サービスや公共施設運営などに必要な経常的経費を、市税などの経常的な収入で賄えていない「経常赤字」の状態です。そのため、毎年度継続して実施している市民サービスや事業を見直さざるを得ません。特に箕面市では、これまで、福祉医療に関して、他市よりも比較的豊かな施策・サービスを、市の単独財源で実施してきました。今回の行財政改革の検討に当たっては、箕面市が単独施策として実施しているものから見直しを考ざるを得ず、そのため福祉医療に関する事業も見直しの対象となりました。今後、福祉医療の根幹的な施策を継続・継続して確保していくためにも、均衡を失っている財政バランスを回復し、健全財政を実現していくことが不可欠です。今回、たくさんの皆様からご意見をいただきましたので、ご意見も踏まえながら、改革内容を取捨選択していきます。</p> <p>検診費用の一部負担金について (57)本市の各種がん検診制度は昭和58年に始まりましたが、当時のがん検診受診率は低く、市民の健康意識も高いとは言えない状況であったことから、受診票の個別通知、年間を通じて身近な医療機関で受診できる体制整備及び無料化(平成10年開始)等を通じて、市民の健康意識の向上と受診率の向上を図ってきました。がん検診に係る費用負担については、自己負担による受診率への影響や市民への制度周知の効果的なあり方などを踏まえ、平成22年度に向けて検討していきます。</p> <p>(64)平成21年度から、市立病院改革プランに基づき、一般会計の負担を抑制します。 市立病院が地域の中核病院として、安心で安全な医療提供体制を維持し、存続していくために、一般会計からの負担に頼らない独立採算の運営をめざしています。医師・看護師不足をはじめ、医療を取り巻く厳しい情勢を乗り越える経営基盤と、近隣病院との連携体制を確保し、公立病院としての役割を果たしていくための改革に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>なお、リハビリテーション医療については、施設や設備的にも充実しており、市立病院の特色の一つですが、平成21年度中に地域のニーズや収益性、医師や療法士などの人材確保の観点を含め総合的なデータに基づき「市立病院改革プラン」の中で検討します。また、健診(検診)部門の機能附加は、効率面・経営面双方から有効と考え市立病院改革プランの素案として盛り込んでいますが、この件を含め早急に改革プランの策定を進める中で検討していきたいと考えています。 「大規模開発について」の回答は、総論(3)を参照して下さい。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
071	健康	健康に不安のある中で健診の有料化されてしまうと病気になってからしか発見できず将来にも希望がもてない。重症化してしまつてからでは回復も遅く、結局保健料をたくさん使ってしまうはめになり、生活も苦しくなる一方で。インフルエンザ対策にしても希望する人すべて無料にしてほしい。もっと国民の生活・健康を守れ！	(57)本市の各種がん検診制度は昭和58年に始まりましたが、当時のがん検診受診率は低く、市民の健康意識も高いとは言えない状況であったことから、受診票の個別通知、年間を通じて身近な医療機関で受診できる体制整備及び無料化(平成10年開始)等を通じて、市民の健康意識の向上と受診率の向上を図ってきました。がん検診に係る費用負担については、自己負担による受診率への影響や市民への制度周知の効果的なあり方などを踏まえ、平成22年度に向けて検討していきます。 (12)65歳以上の高齢者が自己負担1000円(ワクチン代などの実費相当額、非課税世帯及び生活保護受給者等は減免制度あり。)でインフルエンザ予防接種を受けられるよう、市が委託料(平成20年度で約5,084万円)を支出しています。ゼロ試算では、今後、平成23年度に向けて、委託先と協議しながら自己負担額に配慮しつつ、市負担額の見直しについて検討していきます。
119	健康	箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会は、箕面市内で働くケアマネジャーの集まりです。要介護居宅高齢者の生活を支える立場で、意見・提言を述べさせていただきます。 1. 意見 箕面市訪問看護ステーション平成21年度廃止について、再考をお願いいたします。廃止される場合は、民間事業所で十分なサービス提供体制が確保されているかをよく見極めていただいた上でお願いいたします。 2. 理由 病院では入院期間の短縮が図られ、経管栄養、吸引など医療的ケアが必要な患者が次々退院され、在宅で介護を受けておられます。一方療養型病院の減床などにより、医療的ケアが継続して必要な方の長期入院がむづかしい状況です。在宅で医療的ケアが必要な患者にとって、訪問看護は不可欠なサービスで、益々ニーズが増えています。現在箕面市では、箕面市訪問介護ステーションの他には4事業所ありますが、ニーズに対して、提供体制はまだ十分とはいえません。箕面市訪問介護ステーションは長年の実績もあり、市立病院との連携もとりやすく、廃止となればたちまち困ってしまう患者が多くおられます。民間事業者への依存も考えられますが、現在医療、介護業界は人材不足のうえ、報酬が十分ではないため、安定した経営が非常に難しい状況で、民間事業所で安定した提供体制が確保できるか非常に不安を感じます。保険あってサービスなしの状況になる危険性を感じます。在宅要介護高齢者やその家族、またその方々のケアマネジメントを担当するケアマネジャーの要望として、是非長年の実績がある箕面市訪問介護ステーションの存続を強くお願いいたします。 3. 提案 現在の箕面市訪問介護ステーションは24時間緊急時の体制が整っていません。緊急時の対応を希望される利用者は多くおられます。現体制で緊急時の対応をしていただければ、緊急時加算もつき、収入の大幅な増も考えられます。是非緊急時の対応を整備していただきたく要望いたします。	(28)市が訪問看護ステーションを設置した平成4年当時、市内で訪問看護サービスを提供する事業所は市が設置する訪問看護ステーションのみでしたが、介護保険法施行(平成12年4月)後は増加し、現在では本市設置分を含め市内に5カ所となり、一定量のサービスが提供されるようになりました。しかし、サービスの需要量も増加してきていることから、今後の市内における需要量と供給量を踏まえ、平成22年度に向けて事業のあり方について検討していきます。
200	健康	家に難病で寝たきりの高齢者が居ます。市民サービス大幅削減87項目の廃止の中に寝たきり高齢者への歯科保健事業などの廃止訪問看護ステーションの廃止など断固として反対します！！国民目線で検討、見直しを切に願います！！	(在宅寝たきり高齢者歯科保健推進事業) (15)在宅寝たきり高齢者に対する訪問による歯科保健指導及び歯科診療については、平成12年に介護保険制度が始まったことや在宅医療が医療保険(診療報酬)で評価されるようになったことにより、一定制度上は整備されましたが、市内で在宅寝たきり高齢者への歯科保険診療は全ての歯科医療機関が対応できているものではありません。平成22年度に向けて、民間の診療体制等を踏まえ、事業のあり方や市の役割について検討していきます。 (訪問看護廃止) (28)市が訪問看護ステーションを設置した平成4年当時、市内で訪問看護サービスを提供する事業所は市が設置する訪問看護ステーションのみでしたが、介護保険法施行(平成12年4月)後は増加し、現在では本市設置分を含め市内に5カ所となり、一定量のサービスが提供されるようになりました。しかし、サービスの需要量も増加してきていることから、今後の市内における需要量と供給量を踏まえ、平成22年度に向けて事業のあり方について検討していきます。

No.	種別	意見	市の考え方
369	健康	がん検診の現行無料を1割の自己負担になると、現在は予防医学が主流の時代に逆行することになり、医療費が増えて、市財政をますます圧迫することになるのではありませんか？ NO	・検診費用の一部負担金について (57)本市の各種がん検診制度は昭和58年に始まりましたが、当時のがん検診受診率は低く、市民の健康意識も高いとは言えない状況であったことから、受診票の個別通知、年間を通じて身近な医療機関で受診できる体制整備及び無料化(平成10年開始)等を通じて、市民の健康意識の向上と受診率の向上を図ってきました。がん検診に係る費用負担については、自己負担による受診率への影響や市民への制度周知の効果的なあり方などを踏まえ、平成22年度に向けて検討していきます。
388	健康	福祉予約バス(ダイヤモンドバス)の見直しについて 現在、公的な場所へ行かれる時に、個人対応で送迎してくれるサービスで、片道6回まで無料のサービスをしてもらっています。ケアマネの立場で言わせて頂くと、とてもこの制度は、障害のある方には助かる制度で、特に経済的にあまり余裕のない世帯にとっては、介護タクシー(民間)を使うと、数千円(1回につき)にもなるので、本当に助かる制度だと思います。近隣市でも行っていないサービスなので、ケアマネの集まりの所ではいつも「箕面市はいいわね」と言われます。どのような見直しをされるのか、まだわかりませんが、どうかこの制度自体は残して頂きたいと強く思います。又、回数の減回はしないで欲しいです。その方の所得により制限されるのは仕方ないとしても、車イスごとの乗降が必要な方には、所得制限はしないでほしいと思います。 市立訪問看護ステーションの廃止について 現在、民間の訪問看護ステーションは市内4ヶ所ありますが、ナースさんの数や対応の体制(24H、365日)が整っているとすると、あまりなく、依頼しても断られる事も多いです。市訪問看護ステーションさんも廃止する前に何とか24H、365日体制にするとか、必要にあった体制にして下さることを検討して頂ければと思います。やはり市訪問看護ステーションは経費はかかるとは思いますが、その反面、ナースさんが変わらない、ベテラン揃い等の利点も多く、障害者への対応もしてもらえるので、ぜひ廃止の前に、内部の改革をもう一頑張りしてほしい!	(25)福祉予約バスについては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通活性化協議会による市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ、福祉有償運送やその他の移動支援サービスと併せて、今後の事業のあり方について、平成23年度に向けて研究・検討をしていきます。 (28)市が訪問看護ステーションを設置した平成4年当時、市内で訪問看護サービスを提供する事業所は市が設置する訪問看護ステーションのみでしたが、介護保険法施行(平成12年4月)後は増加し、現在では本市設置分を含め市内に5カ所となり、一定量のサービスが提供されるようになりました。しかし、サービスの需要量も増加してきていることから、今後の市内における需要量と供給量を踏まえ、平成22年度に向けて事業のあり方について検討していきます。
527	健康	箕面市の財政が大変厳しくなっている事は良く理解できます。が、歳出の見直していつものこながら、切りやすいところ、切っても、大きな反対もなく通ってしまうところから手をつけています。特に歳出改革試案の2.扶助費の見直しです。府のひとり親の医療費の見直しのように金額は少ないので、何とか耐えて受け入れられると思うという橋下知事の意見ですが、母子家庭にとっては、就学援助や医療費の削減は(給料)就業が非正規雇用なら死活問題です。やはり「貧乏人は早く死んでしまえ!」ということでしょうか。生活保護もまともに申請できない現状の中、子どもの教育でも私学助成費カット等どうして生活し、子供に教育を受けさせていってほしいのでしょうか。『子育てしやすい町日本一』どこがでしょうか?高校生になっても子育てなのです。小さいうちだけが、小学校に入るまでだけが子育てではないのですよ。北大阪急行の延長に、箱ものにお金をかけるなら、セーフティネットである扶助費カットはやめて下さい。高額所得者よりそれにそれにみあった税金を取って下さい。	(9)医療費自体に対する助成は、これまでどおり実施します。一方入院いかに関わらず、生活の中で当然に必要な食費については、健康保険制度等における食費負担の考え方にあわせて、これまで市単独で実施していた入院時の食費助成分を平成21年11月から廃止します。これにより、市の経常的な支出を年間約2,000万円圧縮することができ、入院するかと在宅で治療されるかたの負担の均衡が図られます。なお、健康保険制度により、低所得者への配慮から軽減措置が設けられているため、自己負担額は所得や年齢に応じて1食あたり100円~260円となります。ただし、子どもの入院に係る食事代については、「子どもの医療」の対象とすることを検討中です。 (8)児童・生徒への就学援助は、対象世帯の増加や国庫補助金が廃止されたことにより、市の財政負担が大きくなっているため、他市の動向等も見ながら、対象世帯の所得要件について、H22年度に向けて見直しを図っていきます。なお、ゼロ試案にある就学援助の支給基準が「生活保護基準×1.0」というのは、生活保護世帯のみを対象とするものではなく、同等所得の世帯を対象とすることを想定しています。
066	病院	高齢者の増加、小児救急の破壊・出産など医療面で核となる市立病院のコスト削減は、市民の立場を守る地方自治体の責任放棄としか思えない。	(64)平成21年度から、市立病院改革プランに基づき、一般会計の負担を抑制します。 市立病院が地域の中核病院として、安心で安全な医療提供体制を維持し、存続していくために、一般会計からの負担に頼らない独立採算の運営をめざしています。医師・看護師不足をはじめ、医療を取り巻く厳しい情勢を乗り越える経営基盤と、近隣病院との連携体制を確保し、公立病院としての役割を果たしていくための改革に取り組んでいきたいと考えています。

No.	種別	意見	市の考え方
433	病院	市立病院への繰出しについて 箕面市民が頼りにしている市民病院への繰出しを削るというのは、病院サービスの低下につながり、真先に命の心配につながるように思えます。安心して箕面で暮らすことは出来ません。本来あるべき機能が失われるような削減策は撤回して下さい。	(64)平成21年度から、市立病院改革プランに基づき、一般会計の負担を抑制します。 市立病院が地域の中核病院として、安心して安全な医療提供体制を維持し、存続していくために、一般会計からの負担に頼らない独立採算の運営をめざしています。医師・看護師不足をはじめ、医療を取り巻く厳しい情勢を乗り越える経営基盤と、近隣病院との連携体制を確保し、公立病院としての役割を果たしていくための改革に取り組んでいきたいと考えています。
478	病院	87について 市民病院への予算くり出しを止めて、独立採算性の市民病院にする計画だそうです。「もうけ」のない医療行為は慎しめ、ということでしょうか。「病い」から抜け出させるため、必死の努力をしているのに、そんな冷たい行政には閉口します。 市民の健康を守るうとする努力をふみにじる行政には、反対します。「池田豊中の病院にいけばいい。」という考えには反対です。近くに総合病院があるから安心なのではないでしょうか。そこに市が助成していくのは当然だと思います。	(87)平成21年度から、市立病院改革プランに基づき、一般会計の負担を抑制します。 市立病院が地域の中核病院として、安心して安全な医療提供体制を維持し存続していくために、一般会計からの負担に頼らない独立採算の運営をめざしています。医師・看護師不足をはじめ、医療を取り巻く厳しい情勢を乗り越える経営基盤と、近隣病院との連携体制を確保し、公立病院としての役割を果たしていくために改革に取り組んでいきたいと考えています。
067	高齢	長生きが悪いような長寿祝金を100歳からとは今まで楽しみにしていたのに100歳になれば0にするのにふさわしいと思います。 針、灸、マッサージも廃止とはかなしい思いです。	(14)長寿祝金制度は、敬老思想の高揚と福祉の増進に寄与することを目的として、77歳、88歳、99歳及び100歳以上の方を対象に、7,000円を贈る制度として実施してきましたが、高齢化社会の進展により、必要財源が1000万円を超える見込みです。厳しい財政状況や高齢化社会の進展を踏まえ、平成22年度から現金給付を廃止し、100歳以上の方を対象に祝い品を配付する方向で検討します。また、平成21年度から、高齢者表彰の制度を新設します。 (10)はり・灸・マッサージ施術助成については、高齢者の健康増進意識の向上という所期の施策目的に対し効果が薄く、個人給付的事業であり、また、本制度が創設された当時と異なり、健康保険制度の適用対象となる施術所が拡大しているため、平成21年度から助成を廃止します。
069	高齢	加齢と共に健康への不安が大きくなる中で、医療負担増や入院した際の食費等の負担が大きくなることはとても不安です。やっと認められた針灸、マッサージの費用も廃止、長期的な展望ももってない行政に怒りを感じると共に生きていくことに不安を感じます	(10)はり・灸・マッサージ施術助成については、高齢者の健康増進意識の向上という所期の施策目的に対し効果が薄く、個人給付的事業であり、また、本制度が創設された当時と異なり、健康保険制度の適用対象となる施術所が拡大しているため、平成21年度から助成を廃止します。
070	高齢	私は80歳をこえています、仕事をしています。自分の元気をたもちながら、できるだけ誰にも迷惑をかけないよう努力しています。 今回、市のプランを読んでおどろきましたのは、高齢者に大変冷たいことです。 皆さんの迷惑をかけないように生きてきて、その努力をみて下されはいいのですが、敬老祝金もなくなり、100歳以上になってようやく祝ってもらうなど、あまりにも冷たいものです。 年金も毎年のように減り、後期高齢者の後期高齢者制度や介護保険の負担が増えています。 あたたかい市政を願う一人として、こんなプランはやめてほしいと思います。	「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3)を参照して下さい。 (14)長寿祝金制度は、敬老思想の高揚と福祉の増進に寄与することを目的として、77歳、88歳、99歳及び100歳以上の方を対象に、7,000円を贈る制度として実施してきましたが、高齢化社会の進展により、必要財源が1000万円を超える見込みです。厳しい財政状況や高齢化社会の進展を踏まえ、平成22年度から現金給付を廃止し、100歳以上の方を対象に祝い品を配付する方向で検討します。また、平成21年度から、高齢者表彰の制度を新設します。いただいたご提案については、貴重なご意見として提案の趣旨も踏まえ今後制度のあり方について検討します。
082	高齢	長寿祝い金の見直しについて 祝品を配るとのことですが、財政危機の中そこまでして配布する必要はあるのでしょうか？ 財政危機だからこそ、ご理解頂き、福祉に回すということで、廃止はできないのでしょうか？ ふるさと納税を呼びかけるくらいなら、祝品を配る前にお手紙を出し、祝品を受け取るか、高齢者福祉への寄付(制度をつくる)かを選択できるようなシステムを作っても良いのではないのでしょうか？ で、返信がなければ、高齢者福祉へ寄付するようなシステムを作っても良いと思います。 みんながみんな、祝品を欲しがらないと思います。	(14)長寿祝金制度は、敬老思想の高揚と福祉の増進に寄与することを目的として、77歳、88歳、99歳及び100歳以上の方を対象に、7,000円を贈る制度として実施してきましたが、高齢化社会の進展により、必要財源が1000万円を超える見込みです。厳しい財政状況や高齢化社会の進展を踏まえ、平成22年度から現金給付を廃止し、100歳以上の方を対象に祝い品を配付する方向で検討します。また、いただいたご提案については、貴重なご意見として提案の趣旨も踏まえ今後制度のあり方について検討します。

No.	種別	意見	市の考え方
448	高齢	配布された資料のプランには「100歳以上全員へ」と書いてあるのですが、これは101歳になっても102歳になっても送るのでしょうか？それは、おかしいと思います。 100歳になったときだけでよいのではないのでしょうか？101歳以上は絶対廃止すべきです。これから高齢化し、100歳も珍しくなくなると思います。そもそも、公が個人を祝う必要があるのでしょうか？ 100歳でも送らなくても良いと思いますが、そのようなことはせず、福祉へ充当すべきです。	(14)長寿祝金制度は、敬老思想の高揚と福祉の増進に寄与することを目的として、77歳、88歳、99歳及び100歳以上の方を対象に、7,000円を贈る制度として実施してきましたが、高齢化社会の進展により、必要財源が1000万円を超える見込みです。厳しい財政状況や高齢化社会の進展を踏まえ、平成22年度から現金給付を廃止し、100歳以上の方を対象に祝い品を配付する方向で検討します。
072	学校	箕面市の財政状況を建て直し、重点施策(教育・福祉・環境)を実現しようという趣旨はわかりますが、それならば節約するのは重点施策以外のもの(開発など)にして、重点施策にかかわる予算は増やすのが当たり前ではないでしょうか。 ところが、素案で節約しようとしているのは、重点施策(教育・福祉・環境)にかかわるものばかりです。これらの項目の中には緊急性のあるものもあり、一旦節約してそれから実現するというわけにはいかないものもあります。 たとえば、奨学金貸与事業の新規貸与の凍結です。今、日本学生支援機構の奨学金も、大阪府育成会の奨学金も、希望者の増加に対応できなくて条件が厳しくなっています。また、大阪の府立高校は全国一授業料が高く、減免制度も条件が厳しくなっています。そんな中で箕面市の奨学金まで凍結されたら、進学を断念せざるを得ない学生が増えるでしょう。 教育を受ける権利は節約できるものではありません。「米百俵」の精神で、どんな財政状況の中でも予算を確保しなければならないものです。 同じように見ていけば、素案で節約しようとしているものは、節約すべきでなく、もっと他に重点施策以外の部分で節約すべきものを探すべきであることがわかったと思います。 緊急実施事業は着手しながら、是非とも、もっと根本的な再検討をお願いします。	「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 (69)奨学資金貸与事業については、平成21年度から大学生への新規貸与を廃止し、高校生への貸付制度は貸付額を授業料等を勘案し増額して継続しています。
083	学校	彩都地区小中一貫校の建設について この財政危機で少子化の中、学校を建設する必要があるのでしょうか？ 夕張市は学校を統合してスクールバスを走らせる予定とのこと。 彩都地区もスクールバスを走らせたら如何でしょうか？ または、バス定期代を出す。 彩都も今は子供はいるのですが、年月たてばニュータウンも高齢化します。 その頃は、子供もそんなに居ないでしょう。 彩都周辺の小学校も昔に学童は比べ少なくなってきたのではないのでしょうか？ どうしても造ると言うのであれば、小学校だけにすべきだと思います。 また、造ると同時に周辺の小学校の校区も見直し、どこかの小学校を1校廃校(又は彩都に移転)にすべきです。 箕面市の危機感が感じられません。	(68)通学距離等の問題もあわせて考慮した結果、彩都地区のまちの成熟に合わせ、小中一貫校として整備するのが妥当であるとの結論に至りました。事業費については、できるだけ圧縮するよう検討していきます。
163	学校	素案についての意見を送信いたします。 小学校在籍の親として就学援助の廃止(生活保護世帯のみ援助)の項目には反対いたします。 生活保護水準ではなくても低額所得者にとって就学援助制度のありがたみは計り知れないものであります。 いきなり廃止では無く、せめて給食費や修学旅行費の一部負担や半額負担、もしくは2人目から無料・など細分化された制度の見直しをお願いします。 市保連での公聴会では候補者のなかでも子供に対する愛情を感じ新しい市長の期待が高まりましたが素案を見てかなり落胆いたしました。 「子育て日本一」を掲げて市長に当選されたからには子育て家庭への負担増は出来る限り抑えていただきたいです。 箕面市に住んで良かった...と思えるような、素晴らしい街づくりをしてほしいと期待しています。	(8)児童・生徒への就学援助は、対象世帯の増加や国庫補助金が廃止されたことにより、市の財政負担が大きくなっているため、他市の動向等も見ながら、対象世帯の所得要件について、H22年度に向けて見直しを図っていきます。なお、ゼロ試算にある就学援助の支給基準が「生活保護基準×1.0」というのは、生活保護世帯のみを対象とするものではなく、同等所得の世帯をも対象とすることを想定しています。

No.	種別	意見	市の考え方
287	学校	<p>1) 教育の機会均等をくずしていく方向は許せません。その視点から次の項目は反対です。 児童生徒の就学援助の認定基準見直し 奨学金の新規貸付の凍結 ... 経済的条件で進学の実をたれる生徒のことを考えると胸が痛みます。 これまでこの制度で進学でき喜んだ生徒が何人かいます。彼女らの輝いた表情が忘れられません。</p> <p>2) 学校教育人員配置の総合的見直しも反対です。 子どもたちの人間的な発達に困難になっている今日、学校現場の苦労も大変。とにかく人手が欲しい状況なのに、“学校を支援する”という視点を市はすてるのですか！ “子育てしやすい日本一”とはえらく狭大な施策ですね。重点施策を見て、ひどく片寄ったポーズだけの施策ではないかという印象をもちました。子どもたちの未来に責任をもつという主旨もなぜか空虚に感じられます。 [提言] 国の三位一体改革に根本的な原因があるのですから、国に対してもっとそこを是正するよう市長がものを言っていくべきではないでしょうか。下の者、つまり市民にばかりいたみをおしつけるやりかたは真のリーダーではありません。為政者、上にこそもっともと言うべきことを言って、下の者にうるおいをもたらすリーダーこそが真のリーダーではないでしょうか。</p>	<p>1) (8)児童・生徒への就学援助は、対象世帯の増加や国庫補助金が廃止されたことにより、市の財政負担が大きくなっているため、他市の動向等も見ながら、対象世帯の所得要件について、H22年度に向けて見直しを図っていきます。なお、ゼロ試算にある就学援助の支給基準が「生活保護基準×1.0」というのは、生活保護世帯のみを対象とするものではなく、同等所得の世帯をも対象とすることを想定しています。</p> <p>(6)9奨学資金貸与と事業については、平成21年度から大学生への新規貸与を廃止し、高校生への貸付制度は貸付額を増額して継続しています。</p> <p>2) 学校教育人員配置の総合的見直し (1)7 広範で、複雑多様化し、深刻化している最近の小中学校での様々な生徒指導上の課題に対して、生徒指導担当者授業支援員が配置されることで、生徒指導担当教員が生徒指導に専念でき、未然防止・早期発見・早期対応につながっています。また、新規教員が大量採用される中、若手教員への支援として、市費の教育専門員も配置しています。</p> <p>今後、学校への人的配置については、教員への支援がより効果的・効率的となるよう、平成22年度に向けて総合的に検討してまいります。</p> <p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
479	国保	<p>85について 国民健康保険料については、他市に比べて、値上げせず、すえおかれてきましたが、緊急プランでは、その路線を見直すことが提案されています。市民の要求で据え置きがなされて来たのに、値上げされるのではないかと危惧されます。 生活困窮者への減免措置を見直すなど、多くの市民の不安をかり立てています。</p>	<p>(8)5 国民健康保険事業は、平成19年度決算で約24億円の累積赤字を抱え、平成20年度決算においても実質7億円の赤字を見込んでいます。そこで、国民健康保険財政の健全化について、真面目国民健康保険運営協議会に諮問し、答申をいただきました。この答申に沿って、収納対策を強化し収納率の向上を図るとともに、特定健康診査等の保健事業の実施等により、被保険者のかたの健康増進と医療費の抑制等に努めます。また、国民健康保険事業と市の財政状況を考慮しながら一般会計から一定の繰入を行い、被保険者のかたにも国民健康保険財政の状況をご理解いただき、健全な運営が図れるよう、保険料及び減免制度の見直しなど、一定のご負担をいただくことが必要であると考えています。なお、国民健康保険料の納付が困難なかたに対しては、まず納付相談を行い個々の事情を考慮して丁寧に対応してまいります。</p>
096	不明	困っている人がいるみたいなので、意見を聞いてあげて下さい。よろしく願います。	ゼロ試算は、皆様のご意見を反映し決定して行きます。
263	不明	<p>阪急バス 乗場迄徒歩で約20分 今宮 2丁目 行き北千里・千里中央 郵便ポスト迄約片道18分 スーパー買物迄約片道15分 市の無料バス 午前9時30分乗車場迄15分市民病院行 公共施設福祉バス運行の回数が少ないので困る 運行が無くなる事は尚困る事です</p>	<p>(2)5 福祉予約バスについては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通活性化協議会による市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ、福祉有償運送やその他の移動支援サービスと併せて、今後の事業のあり方について、平成23年度に向けて研究・検討をしていきます。</p> <p>(2)6 公共施設巡回福祉バス(Mバス)については、市内バス路線網の充実や路線バスとMバスの連携や一体化に向け、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき市民団体、交通事業者、行政等で構成する地域公共交通活性化協議会において「地域公共交通総合連携計画」を作成する予定です。なお、サービス水準と運行経費のバランス、費用対効果、市・事業者・利用者の負担のあり方などが課題となりますので、平成22年度から社会実験としての実証運行の開始をめざしたいと考えています。</p>

公表に当たっては、個人や団体を直接誹謗する表現については、修正しています。